

みうら美代子 通信

2017年 春号



交野市議会議員 みうら 美代子

【自宅】〒576-0033 交野市私市6-18-28 TEL・FAX: 072-893-0199
【議会】〒576-8502 交野市私部1-1-1 TEL: 072-892-0121 (代表)

http://www.miura-miyoko.net/
みうら美代子 検索

みうら美代子の視点① 〈平成29年度一般会計予算について〉

国において少子高齢化が着実に進む中、医療、介護、年金といった社会保障などに対する将来の不安が議論され、政府は待たなしの少子化対策をはじめ、介護予防や無年金者の救済など少しずつ改革を進めてきました。経済においては、世界を見れば不安な要素もある中、国内では成長と分配の好循環を作り出すため様々な議論がなされ、3月末、平成29年度予算が決定されました。今後、国の動向を注視しながら、交野市の施策をタイミングを逃さずに的確に実行し、交野市の政策が市民ニーズにかけ離れていないかを見極めていかなければなりません。

3月議会で平成29年度予算審議の結果、賛成しましたので、その理由を説明させていただきます。

1) 補助金について

補助金の公平性、透明性を確保するために見直しをするように要望したところ、平成28年度において補助事業の標準化を図るため「補助金等のあり方に関するガイドライン」を策定し72の事業の補助金の見直しがされ、平成29年度予算に反映されたことを評価。更なる事業の活性化を期待したい。

2) 基金の残高について

平成27年度末時点で54億円と増加している一方で予算説明資料の基金の取り崩しに関する説明が不十分であり、基金の内容を精査し適正に活用できるものは活用するよう要望。「説明資料の添付やその活用など検討する」と前向きな答弁をいただいた。



3) 新たな事業予算について

実質公債費比率や将来負担比率をにらみながら、平成29年度も7億円を下らない帳簿価格の圧縮を着実に進められようとしており、そういう厳しい財政状況の中、以下の新たな事業が予算に組み込まれている。

- 防犯カメラを新たに公園等に設置(12台) ■「軽度難聴児の補聴器交付事業」
- 待機児童の解消に向けての「小規模保育施設運営費補助事業」 ■「妊産婦歯科健診事業」
- かけがえのない命を救う「ドクターカー事業」 ■小学校6年までの全学年の35人学級の実施
- 次期学習指導要領も踏まえた小中連携教育の充実のため「新たな科」を創設することによる「小中一貫学園構想事業」
- 子どもの居場所づくりとして放課後学校図書館の開館をする「子ども未来サポート事業」
- 小中学校のトイレの洋式化前倒し改修工事 ■第1児童センター改修工事
- 公共施設等総合管理計画の策定／学校規模の適正化基本計画等の策定／星田駅北エリアと星田駅周辺のまちづくりに資する測量の実施など交野市の未来を見据えた計画の策定に着手

以上のことから、市民の安全安心の暮らしのためや、交野の未来を担う子どもたちの教育に力を入れたいという思いが予算編成に見受けられます。限りある行政資源をさらに効率的にフル活用して、子どもの貧困対策はじめ、将来を見据えた持続可能なまちづくりをすすめていただきたく、平成29年度一般会計予算に賛成しました。

みうら美代子の視点② 〈3月議会一般質問より〉

●子育て支援について

【要望】難聴の早期発見に向けて新生児期の聴覚検査が効果的であるが、費用が3000円～5000円かかる。検査費用助成の検討をお願いしたい。



●地域包括支援センターについて

【質問】超高齢化社会に向け、ますます高齢者への対応が必要になってくる中、地域包括支援センターが中心となり地域包括ケアシステムの構築にむけた取り組みが進められようとしているが、現状の市内1か所では対応が厳しいのではないかと複数か所必要だと考えるが？

【答弁】平成18年度の設置以来、3年に一度の介護保険制度の改正や2025年問題など当時想定していなかった事業展開も求められており、研究課題として今後検討する。

●子どもの貧困について

【質問】「子どもの貧困対策推進法」に基づき「子どもの貧困に関する大綱」が閣議決定され「我が国の子どもの貧困の状況が先進国の中でも厳しい」と示された。子ども食堂も効果的と考えるか？

【答弁】子どもの貧困には教育の支援や生活の支援、つながりや居場所といった視点も必要であり「子ども食堂」にはそうした複合的な視点も期待される。今後実態調査の分析結果を踏まえ、支援を検討したい。

●生涯学習について

【質問】生涯学習基本計画を策定される。新たに相談窓口を設置して利用者の利便性や増加を図られることは大いに評価するが、費用がかかることが困るとアンケートにははっきりと出ている。高齢者や障がい者の参加費補助をお願いしたいか？

【答弁】障がい者への減額制度はあるが、本年4月より青年の家について、障がい者への減額制度を導入する。高齢者には総合体育施設利用者に料金を減額している。また、「星の里いわふね」や「星田西体育施設」には高齢者の減額制度がないため、次回指定管理者の切り替え時に検討する。



みうら美代子が気になるアレコレを調査!

トピックス2017



■File 004: 待機児童解消にむけて…

- ①本年4月から小規模保育所(0歳児から2歳児)が3か所新設されました⇒定員65名増に。
- ②交野市立幼稚園が幼保連携型認定こども園に。保育所部分⇒定員59名増に。幼稚園部分⇒3歳児受け入れ開始。
- ③民間も合わせて全体で定員が126名増となったが、待機児童解消にむけて、引き続き全力で取り組みます。

■File 005: 粗大ごみの一部有料化

本年10月より、ごみの減量化と最終処分場の負担軽減と、ごみ処理に要する費用負担の公平性の確保が目的で有料化がスタートします。指定品目46品目は金額が300円～1200円で決められており、その他の粗大ごみは、3辺のうち1辺が1m以上は300円、2辺が1m以上は600円、3辺が1m以上は900円となります。詳しくは市民説明会等でお聞きください。



“かたの”の未来は、みうら美代子におまかせください!